

1月22日(日)

日頃の感謝を込めて

寿司7貫

選ぶのが 楽しい!

5000

(税込)
円



西田鮮魚店

☎72-5246

御用聞き便(旧庄原市内はご自宅に配達)専用番号

☎090-7125-5489

こんにちは、皆様如何お過ごしでしょうか。「1月はいぬる」と言うほど早いですね。気付けばもう1月も後半、暑かったり寒かったりしますが体調崩さない様に気をつけていきたいですね。

話は変わりますが皆様に朗報です。活力と笑顔のあふれる西田鮮魚店がまたまたやりますよ！第二弾！

物価上昇に負けるな！コロナなんてぶっ飛ばせ！鮮度抜群のこだわり7貫盛りのお寿司をなんと税込500円！で販売いたします。

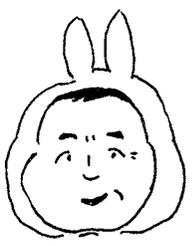
店長に「何パツクの予定ですかね？」と伺ったところ「うーん、1200パツクくらいですかね」と。おおお燃えてきましたよ。活力と笑顔のあふれる西田鮮魚店は負けません！ONE TEAM 一丸!!ちよと古かつたかなあ?(笑)この一丸力で挑みますよ。

鮮魚店の陳列にはお寿司が溢れんばかりに用意し皆様のご来店を心よりお待ちしております。

ようしゃく頑張ります!!

西田鮮魚店 菊間 徹也

悪いことは言わん 見んさい 『アバター ウェイ・オブ・ウォーター』



鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

「感動した!!。」悦子の第一声。

このところ、2人して映画を見に行くことが増えてたが、もうひとつ心に刺さらないみたいだ。あなたに付き合っただけであげたわよ、そんな悦子の反応だった。それが…。

コロナ禍、ネットフリックスという映画やドラマの配信サービスを知り、以来、片っぱしから映画を見る悦子。じっとしているのが苦手と広言、確かに、30数年に及ぶ結婚生活でテレビの前に座る姿など見たことがなかった。それが…。

一方で、60才になってからというもの、少なくとも年間100本は映画を見、しかも、テレビで見る映画は映画ではない、劇場で見てこそその映画、と言いつつ私。だから、IMAXで上映されるときは必ず、IMAXで見る。悦子はそこまではこだわらない。それが…。

去年の12月16日、一般公開。真っ先に見に行きたかった。しかし、ゆったり鑑賞したい私は、年末も年始もさけ、料金が安くなって観客が増える水曜日もさけ(60才以上の料金は変わらない)、悦子の都合に合わせて13日の金曜日にソレイユにでかけました。1時50分からの上映。まずはチケットを。正月あけの昼というのに正面の席は、ほぼ埋まっている。後ろから二番目の席。シルバーチケットの1200円に大画面のIMAXと3D料金が900円加算され一人2100円。

40分ほど時間があつたので腹ごしらえ。一階のラーメン屋さん『我馬』。正月明けだから、ちょっと贅沢にと『赤馬の全部のせと餃子のランチセット』を食べる。うまかった。この秋に三次に出店するんだとか。この前、社員募集のチラシが入っていた。腹も落ち着いた。いざ劇場へ。

開始前の予告編。7月公開予定の『ミッション インポッシブル』の撮影場面が流れる。トム・クルーズが山の中腹に設置されたジャンプ台をオートバイで疾走、オートバイごとはるか崖下に落下する。スタントマンじゃなく、トム・クルーズが自分で。すげえ!予告編だけで元は取ったような気になる。見なくては。

『アバター ウェイ・オブ・ウォーター』

「悪いことは言わん、見んさい。絶対にIMAXで見んさい。」テレビじゃ絶対ダメ。もちろん、テレビでもおもしろいと思うよ。でも、ダメ。絶対ダメ。

普通の映画館のスクリーンでもいいのかもしれんけど、それでもダメ。絶対IMAX。

庄原からソレイユまで中国道を使えば、一時間ちょっと。下道で1時間半くらいなもの。その価値は十分あります。

『トップガン マーヴェリック』も、IMAXで見んといけんよ、と言いました。ある床屋さんでも、髪を切ってもらいながら熱心にすすめました。私は、だいたい20日くらいの周期で散髪します。次に行ったとき見ていなければ、私に何を言われるかわかりません。仕方なく彼は、翌週、奥さんと一緒に行ったそうです。「あそこまで言われれば…」と。髪も伸び散髪に行くと、座るやいなや彼はすぐに私に礼を言いました。「良かった」と。「おもしろかった」と。ただ、奥さんには、ちょっと音が大きすぎたらしく、耳を押さえながら見たそうです。でも、彼女は、私がすすめたボルシエに寄りかかるとジェニファー・コネリーのシーンが素敵だったと言ってくれました。その次に行ったとき、またまた礼を言われました。息子さんにも教えたら。息子さんも大ファンになったのだそう。大神さんに感謝され、私も幸せでした。

でもですね。でも、『アバター』は、それ以上にIMAXで見なければいけません。

ここで、くわしく映画の説明をしてもいいんですが、私の力ではとても伝わりません。第一、映画でもなんでも、先に内容を聞かされては、先入観が邪魔をしてしまいます。だから何も話しません。

只々、ソレイユに行って、10番スクリーンの『アバター ウェイ・オブ・ウォーター』のIMAXのチケットを買って、座席に深々と腰をかけ、黙って画面に見入ってください。3時間12分です、上映時間は。入りこみましょう、この信じられないほど美しい世界に。

ひとつだけ。主人公のジェイクは、もともと海兵隊の軍人(伍長)、人間でした。ナヴィ族のアバター(化身)となって入り込み、最後はナヴィ族になったのです。敵役のクオリッチはジェイクの元上官、当然人間でした。そこだけ、知っていた方がいいかも。

ところで監督のジェイムズ・キャメロン。あの『タイタニック』の監督。そして、『ターミネーター』も。1954年生まれ。68才。私より2才年下。すごい。私だって…。まだまだ…。

映画が終わったのは5時過ぎ。帰って食事を作るのもね。店で食べてると遅くなるし。ここはテイクアウトだ。去年の12月30日、五日市の『ミートファクトリー あんず お肉の工場直売所(長い、長すぎる)』を手伝いに店に入った悦子を、迎えに行つて帰るときは、西風新都のマクドナルドで『サムライマックスのセット』。

今日はスターバックスにしよう。悦子は『チョコチップクッキーとダークモカチップクリームフラペチーノ』。私は『チョコスコーンとダークモカチップフラペチーノ』。列に並んで買い、車で食べながら帰りました。うまかった。それにしてもスタバはすごい。みごとに仕組みです。スタバのスタッフが、ときばきと素早く作業してるのを見ながら、「すごいいう」を連発。うらやましい。

『我馬』でランチして、『アバター』で心を震わせ、『スタバ』でテイクアウトして車で晩ごはん。

1月15日が36回目の結婚記念日。2日早かったけど…。いい一日でした。

